

行政文書・古文書保存管理講習会開催！！

2016.1.12（レポーター 宇都 綾子）

当日は総勢 59 名の方にご参加いただきました。

平成 27 年 11 月 20 日（金）、行政文書・古文書保存管理講習会が当館で開催されました。

この講習会は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関して、市町の文書事務取扱者及び関係者の知識の向上と業務推進を目的として毎年開催されています。

本年度は『地方公共団体における文書管理の現状と課題 ～公文書管理法への対応と災害対策～』と題した講演会と、分科会報告として、『呉市における文書管理改善の取り組み ～ファイリングシステム導入～』（行政文書分科会）・『災害から地域歴史資料を守る』（古文書分科会）がそれぞれ開催されました。

午前中は『地方公共団体における文書管理の現状と課題～公文書管理法への対応と災害対策～』という内容で『行政文書管理』編集者である益田宏明氏に、文書管理の基本や現状・課題などを体系的にお話いただきました。

文書管理において不適正な例として「大まかなタイトルを付けてしまうと、本来一緒に保存すべきでない資料が同一のファイルに綴じられてしまい、見つける事ができなかった」という事例では、受講者の方が大きくうなづく場面もありました。

また、文書を適正に管理することで、いつでも利用でき（「文書の意義」を成立させ）、災害時にもいち早く対策を講ずる事が出来た事例などをご紹介いただきました。

「文書の意義」を成立させるためには、適正な文書管理が必要です！

にこやかな廣田先生ですが、厳しく指導していただきました。

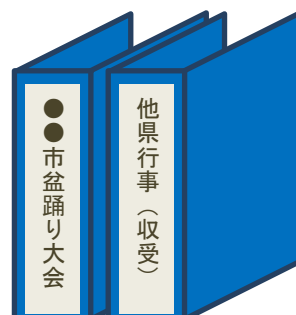


大まかなタイトルをつけてしまうと…

× 他県の「行事」文書も混ざっていた！

× 保存年限が異なる文書も混ざっていた！

…なんてことも！？



誰が見ても、

内容が分かりやすい

タイトルを付けて

管理する事が大事！

行政文書文科会「呉市における文書管理改善

の取り組み ～ファイリングシステム導入～

昨年当館でも講演いただいた廣田氏の手法を導入している呉市の事例を成果や問題点なども含め、呉市総務部総務課長 小森 強氏にご講演いただきました。

筆やキッチンペーパーなど、身近な生活用品を使って応急処置が出来ます！

古文書文科会「災害から地域歴史資料を守る」

被災した歴史資料の保全・救出について、具体的な事例紹介や応急処置方法の実習を、歴史資料ネットワークの吉原大志氏ほか 2 名の方にご講演いただきました。

受講者の声

- どのようにファイリングし、整理すべきか考えるきっかけになった（講演会）
- 現在文書管理の在り方として、今ある文書をどう整理するかの考え方を聞いていた。本日の講義で非常時のための文書管理も検討すべきだと感じた（講演会）
- ファイリングシステム導入過程での話が聞けて、非常に興味深かった（行政文書分科会）
- どこにもある材料で対応できるという事例は、とても参考になりました（古文書分科会）

※カッコ内は各受講会

資料が「存在」していても、利用することが出来なければ意味がありません。当館の資料も、皆さまにお気軽にご利用いただけるものであることを意識して整理に取り組み、より多くの方々に文書館の収蔵資料をご活用いただければと思います。